

① 厳しい
基準値のもと、
徹底した
安全確保を 
続けてきました。

② ALPS処理水は
安全基準を
満たした上で
放出します。 

③ 海洋放出による
人体や環境への
影響は
考えられません。



もっと詳しく知りたい方へ

●ALPS処理水について



資源エネルギー庁 電話:03-3580-3051
メール:bzl-hairo-syorisuitsaisaku@meti.go.jp

●福島第一原発事故による
水産物への影響と対応について



水産庁 電話:03-6744-2030

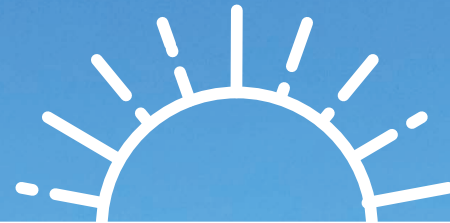
●福島県産の
食品の安全性について



ふくしまの食 相談センター



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry


水産物の
安全・安心のために

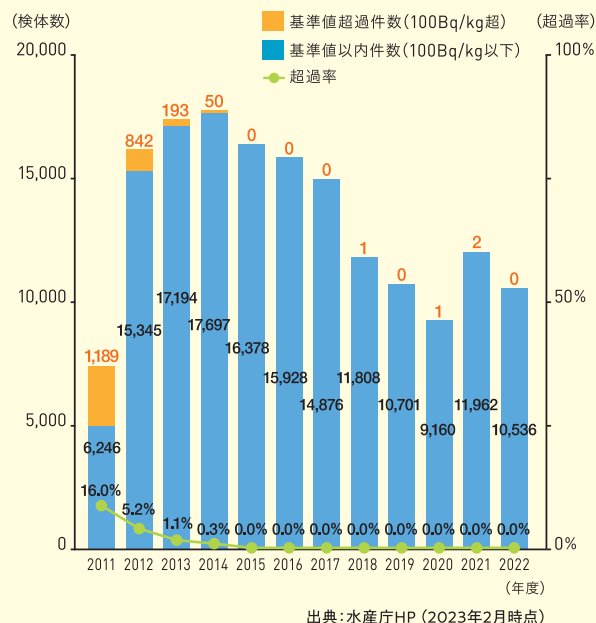
美味しい海の幸を、これからも。

みなさんの食卓に届く美味しい海の幸を
これからも安心して食べていただくために、
安全確保のための徹底した取組について
紹介します。

① これまでも 厳しい基準値のもと、 徹底した安全確保を 続けてきました。

震災以降、国がすべての世代に配慮して定めた厳しい基準値に基づき、水産物の徹底した検査を実施してきました。
2015年以降は、基準値を上回る魚はほぼでていません。

■海産種の調査結果

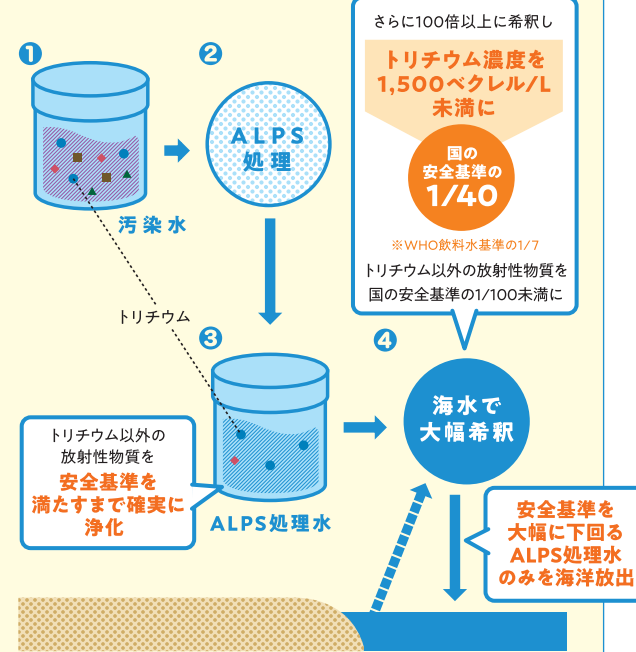


② ALPS処理水は、 安全基準を 満たした上で 放出します。

福島復興の大前提となる廃炉を進めるため、政府は、東京電力福島第一原子力発電所のALPS処理水について、安全基準を十分に満たした上で、海洋に放出する方針を決めました。

なお、ALPS処理水に含まれるトリチウムは、私たちの身体や自然界に広く存在する物質で、国内外の原子力施設からも海に放出されています。

■海洋放出までの流れ

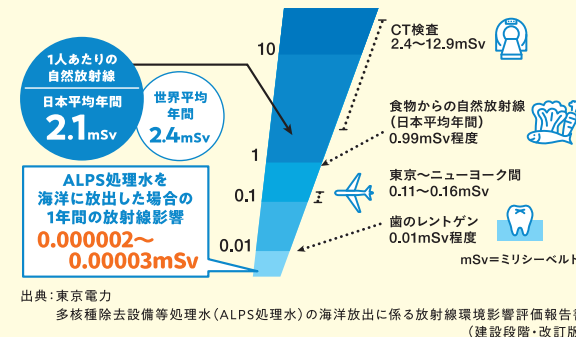


③ 海洋放出による 人体や環境への 影響は 考えられません。

日頃から近海の魚を多く食べる場合も想定し、海洋放出による影響を評価したところ、日常受けている放射線からの影響と比べても、極めて小さいと確認されています。

放出前後でモニタリングも行い、放射性物質濃度に大きな変化が生じていないか確認します。また、IAEA（国際原子力機関）にも、IAEAの安全基準が守られているかを厳しくチェックしてもらっています。

■人への影響は、歯のレントゲンで 受ける影響を大幅に下回ります



■海域でのモニタリング

